

# 2014年3月期第2四半期 決算説明会資料



▲  
ミセスファッション店  
「BELLUNA」



▲  
基幹カタログ  
「ベルーナ」



▲  
看護師向け通販カタログ  
「アンファミエ」



▲  
アンファミエの商品例

# ベルーナ

2013年11月28日(木)

<b>1. 決算ハイライト</b>	<b>P.2</b>	<b>3. 特集:アンファミエの取得</b>	<b>P.21</b>
1. 決算概況		1. 看護師市場の動向	
2. 連結損益計算書		2. 看護師向け通販の市場	
3. 連結貸借対照表		3. アンファミエの取得の狙いと業績への影響	
4. 連結キャッシュフロー計算書			
<b>2. セグメント別概況</b>	<b>P.9</b>	<b>4. 第二次短期経営計画</b>	<b>P.25</b>
1. 総合通販事業		1. 経営環境の変化と新たな課題	
2. 専門通販事業		2. 経営基本方針	
3. 店舗販売事業		3. 主要経営指標	
4. ソリューション事業		4. 経営基本方針に基づく取り組み	
5. ファイナンス事業			
6. プロパティ事業			
7. その他の事業			
		<b>5. 参考資料</b>	<b>P.35</b>

・本資料は、2014年3月期第2四半期決算業績に関する情報の提供を目的としたものであり、当社が発行する有価証券の投資を勧誘することを目的としたものではありません。また、本資料は2013年11月27日現在のデータに基づいて作成されております。本資料に記載された意見や予測等は、資料作成時点の当社の判断であり、その情報の正確性、完全性を保証し又は約束するものではなく、また今後、予告なしに変更されることがあります。

# 1. 決算ハイライト

---

*BELLUNA*

1. 決算概況
2. 連結損益計算書
3. 連結貸借対照表
4. 連結キャッシュフロー計算書

# 1-1. 決算概況

BELLUNA

(単位: 億円)

連結	13/3期 2Q累計	14/3期 2Q累計				14/3期	
		予算 <sup>*1</sup>	実績	予算比	前年比	予算	前年比
売上高	542.4	630.0	604.3	- 4.1%	+11.4%	1,300.0	+10.3%
売上総利益	304.8	341.2	331.0	- 3.0%	+8.6%	719.1	+9.4%
販売管理費	283.1	309.2	305.8	- 1.1%	+8.0%	624.1	+6.4%
営業利益	21.7	32.0	25.3	- 21.0%	+16.2%	95.0	+34.2%
経常利益	25.4	34.0	31.3	- 7.9%	+23.5%	100.0	+12.2%
当期利益	18.3	22.0	19.6	- 10.8%	+7.3%	65.0	+10.7%
包括利益	17.9	—	20.9	—	+16.8%	—	—
EPS(円) <sup>*2</sup>	18.7	—	20.2	—	+7.9%	66.8	+11.0%
減価償却費 <sup>*3</sup>	11.8	—	13.2	—	+11.8%	25.0	+1.2%
設備投資額 <sup>*4</sup>	19.9	—	38.7	—	+94.4%	95.5	+6.7%

\*1: 2013年5月14日公表予算

\*2: 2013年10月1日付にて普通株式1株から2株の割合で株式分割を行っております。EPSは当該株式分割を考慮し算定しております。

\*3: 減価償却費には、無形固定資産関連の償却や長期前払費用も含む

\*4: 設備投資額には、ソフトウェアなどの無形固定資産およびリース資産への投資額も含む

# 1-2. 連結損益計算書

BELLUNA

(単位: 億円)

連結	13/3期2Q累計		14/3期2Q累計		14/3期	
	実績	売上比	実績	売上比	予算	売上比
売上高	542.4	100.0%	604.3	100.0%	1,300.0	100.0%
売上原価	237.6	43.8%	273.3	45.2%	580.9	44.7%
販売管理費	283.1	52.2%	305.8	50.6%	624.1	48.0%
営業利益	21.7	4.0%	25.3	4.2%	95.0	7.3%
営業外損益	3.6	0.7%	6.0	1.0%	5.0	0.4%
経常利益	25.4	4.7%	31.3	5.2%	100.0	7.7%

## 【売上原価率】 前年比 +1.4P

- ・原価率の高い販売用不動産の売却増 +1.0P
- ・専門通販事業の原価率アップ +0.3P

## 【販売管理费率】前年比 -1.6P

- ・広告宣伝费率の改善 -2.2P
- ・店舗・倉庫賃借料増加 +0.2P
- ・利息返還損失引当金繰入額増加 +0.2P

## 【営業外損益】前年比 +2.4億円

- ・為替差益 +3.7億円
- ・受取利息・配当金 +1.1億円
- ・投資事業組合運用損 -1.6億円

# 1-2. 連結損益計算書

BELLUNA

(単位: 億円)

## ▼ セグメント別売上高と営業利益

	14/3期 2Q 実績					
	売上高	前年比	営業利益*1	前年比	営業利益率	前年比
総合通販	365.3	+3.0%	-1.6	—	-0.4%	-0.2P
専門通販	112.4	+4.5%	1.6	-73.2%	1.4%	-4.2P
店舗販売	30.1	+28.4%	1.1	-32.1%	3.8%	-3.4P
ソリューション	22.9	+15.5%	9.4	+14.0%	40.9%	-0.5P
ファイナンス	17.5	+23.3%	3.3	+37.7%	18.7%	+2.0P
プロパティ	44.6	+318.7%	12.2	+239.9%	27.4%	-6.3P
その他	13.8	-2.1%	-1.0	—	-7.0%	-8.1P
連結消去	-2.3	—	0.2	—	—	—
計	604.3	+11.4%	25.3	+16.2%	4.2%	+0.2P

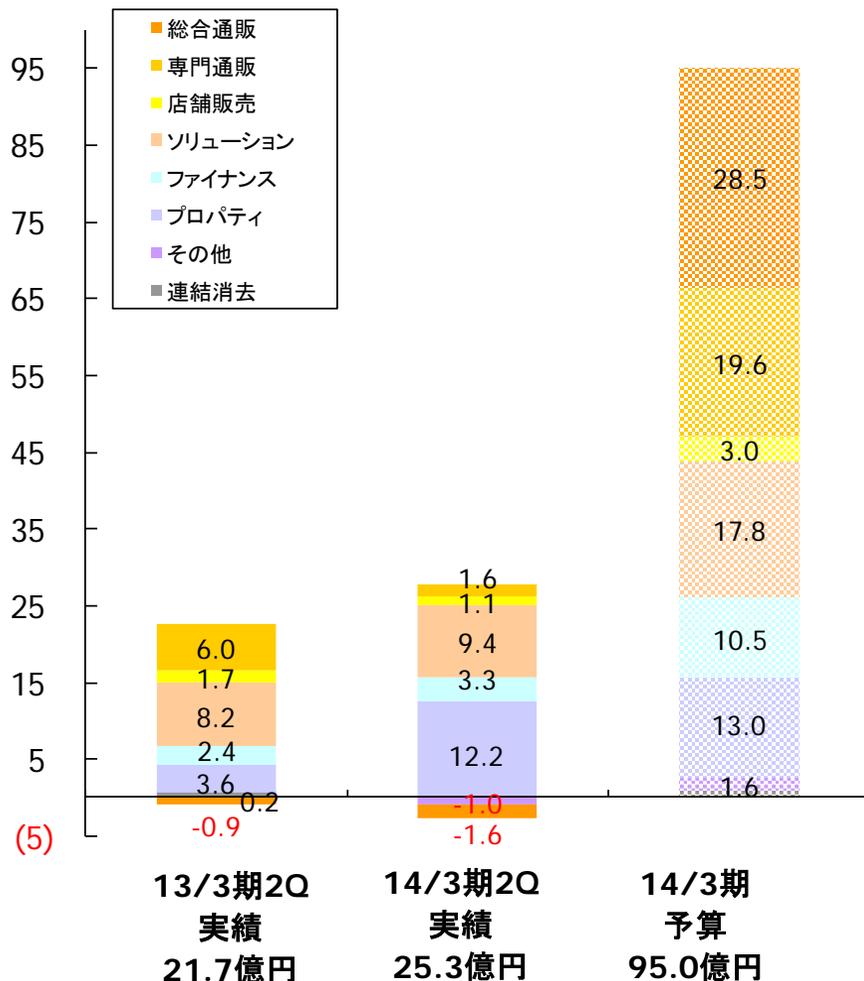
\*1:「セグメント情報等の開示に関する会計基準」および「セグメント情報等の開示に関する会計基準の適用指針」を適用しております。

本資料においてセグメントの「営業利益」と表示している場合は、「セグメント利益」となっております。

# 1-2. 連結損益計算書

## ▼ 営業利益<sup>\*1</sup>の変動要因

(単位:億円)



### ■ プロパティ事業 +8.6億円

・販売用不動産売却益 +8.3億円

### ■ ソリューション事業 +1.1億円

・増収効果 +1.3億円

### ■ 総合通販事業 -0.7億円

・媒体効率の改善 +3.9億円  
 ・システム関連コストの減少 +1.8億円  
 ・物流費率の悪化 -6.0億円

### ■ 専門通販事業 -4.3億円

・原価率の上昇(+1.3P) -1.4億円  
 ・システム関連コストの増大 -0.8億円

\*1:「セグメント情報等の開示に関する会計基準」および「セグメント情報等の開示に関する会計基準の適用指針」を適用しております。

本資料においてセグメントの「営業利益」と表示している場合は、「セグメント利益」となっております。

# 1-3. 連結貸借対照表

BELLUNA

(単位: 億円)

	13/3末	13/9末	増減額
<b>流動資産</b>	650.9	653.5	2.6
現預金	148.3	144.7	-3.6
商品	127.5	161.7	34.2
販売用(含む仕掛)不動産	39.2	16.3	-22.8
<b>固定資産</b>	499.9	594.1	94.2
有形固定資産	352.3	381.3	29.0
無形固定資産	39.0	76.9	37.9
<b>総資産</b>	1,150.8	1,247.6	96.8
<b>負債</b>	484.7	564.2	79.6
長期・短期借入金	132.4	244.8	112.4
未払法人税等	26.5	8.1	-18.4
<b>純資産</b>	666.1	683.3	17.2
利益剰余金	549.0	565.0	16.0
<b>[自己資本比率]</b>	[57.9%]	[54.8%]	[-3.1P]

# 1-4. 連結キャッシュフロー計算書

BELLUNA

(単位: 億円)

	13/3期2Q	14/3期2Q	
	実績	実績	前年比
<b>営業活動によるキャッシュフロー</b>	24.5	8.4	-16.1
税金等調整前四半期純利益	24.8	30.9	6.1
たな卸資産の増加	-25.3	-32.4	-7.2
法人税等の支払額	-9.9	-26.8	-16.9
<b>投資活動によるキャッシュフロー</b>	-15.3	-123.0	-107.8
子会社株式の取得による支出	0.0	-55.1	-55.1
有形固定資産の取得による支出	-6.6	-46.4	-39.7
<b>財務活動によるキャッシュフロー</b>	-14.3	106.3	120.6
長期・短期借入金の純増	-5.5	112.4	117.9
<b>キャッシュに係る換算差額</b>	0.0	0.2	0.3
<b>キャッシュ増加額</b>	-5.1	-8.0	-2.9

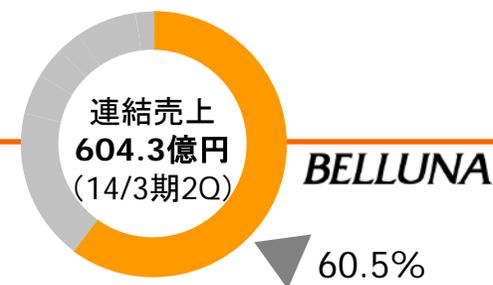
- ・たな卸資産と法人税等の支払額が増加したことなどで、営業活動によるCFは前年比で減少した。
- ・また(株)アンファミエの株式取得と大型の設備投資を行ない、その資金を借入金で賄ったこと等から、投資活動によるCFがマイナスとなった反面、財務活動によるCFはプラスに転じた。

## 2. セグメント別概況

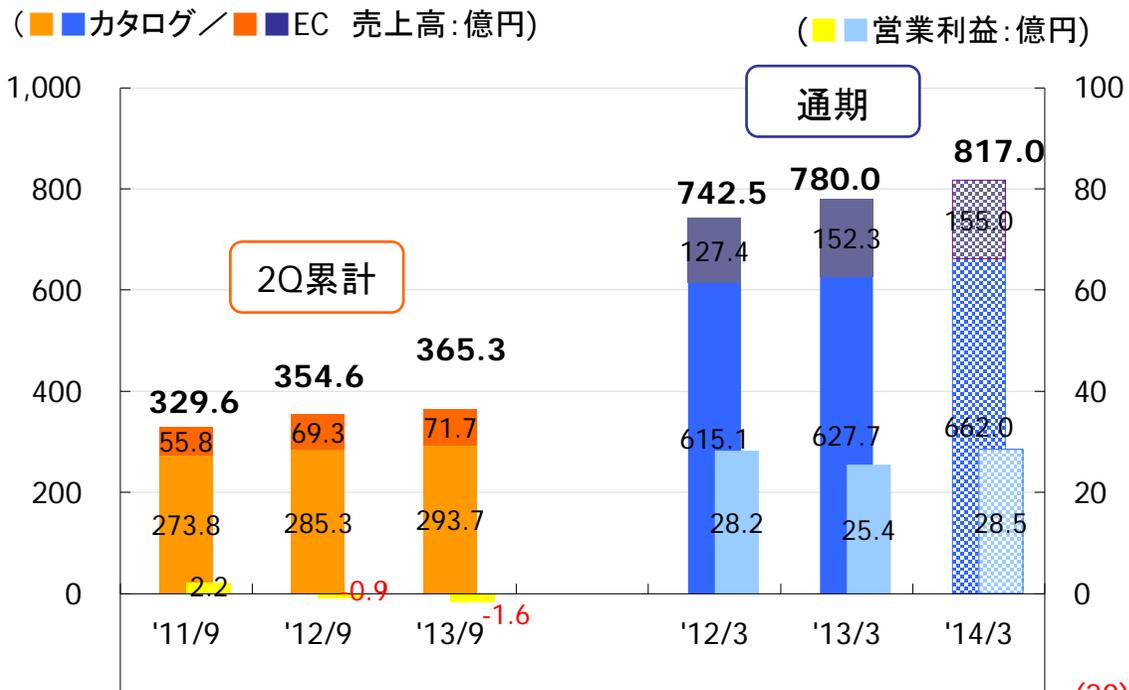
BELLUNA

1. 総合通販事業
2. 専門通販事業
3. 店舗販売事業
4. ソリューション事業
5. ファイナンス事業
6. プロパティ事業
7. その他の事業

# 2-1. セグメント別概況：総合通販事業



## 【総合通販事業】実績と総括



	14/3期2Q 実績	前年比
アクティブ会員数	461.0万人	+1.1%
登録会員数	1540.7万人	+5.8%
新規顧客獲得数	38.5万人	-18.8%
受注単価	9,944円	-3.3%

▲各指標の実績推移は、コーポレートデータ(P.7)に掲載

(20)

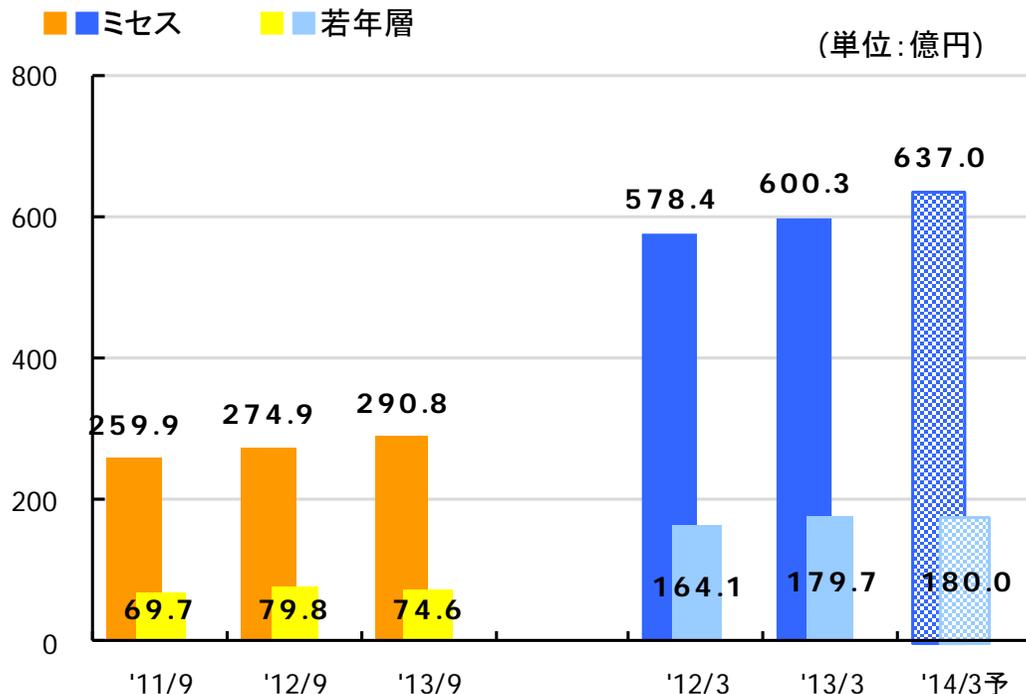
### 増収となるも減益

・アクティブ会員数は着実に増加し、売上高は前年比3.0%増となる。一方、利益面では媒体効率が改善するが、受注単価の下落や在庫増等で物流関係コストが上昇し、減益となる。

→ 今後は在庫圧縮を図りながら物流関連コストの削減に注力していく

# 2-1. セグメント別概況：総合通販事業

## ▶ ミセスと若年層の売上高の推移



ミセスは、前年比+5.8%と着実に売上を伸ばすも、若年層は抑制気味とし、前年比-6.5%となる。

→引き続き収益性の高いミセスに重点を置く

EC比率	14/3期2Q実績	前年比
全体	20.3%	+0.1P
内、(ミセス)	11.9%	+0.3P
(若年層)	50.9%	+0.4P

▲実績推移は、コーポレートデータ(P.8)に掲載



◀ミセスカタログ「BELLUNA」



▶若年層向けカタログ「RyuRyu」

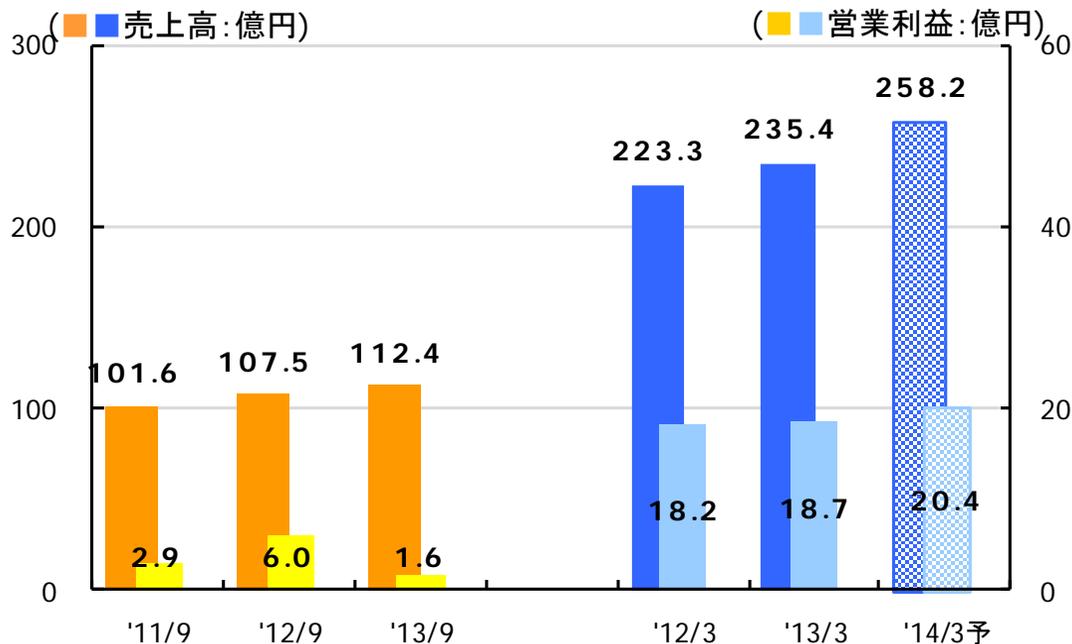
## 2-2. セグメント別概況：専門通販事業

連結売上  
604.3億円  
(14/3期2Q)

BELLUNA

18.6%

### 【専門通販事業】実績と総括



①食品・花・ワイン  
(単体)



②化粧品  
(オージオ)



③健康食品(リフレ)



④看護師向け通販  
(ナースリー)

- ・看護師向け通販事業と化粧品事業は順調に売上を伸ばすも、グルメ事業が苦戦し、売上高は4.5%増。
- ・利益面では、特にグルメ事業において、円安による原価率上昇とシステム関連コストの増加などにより、前年比大幅減となった。

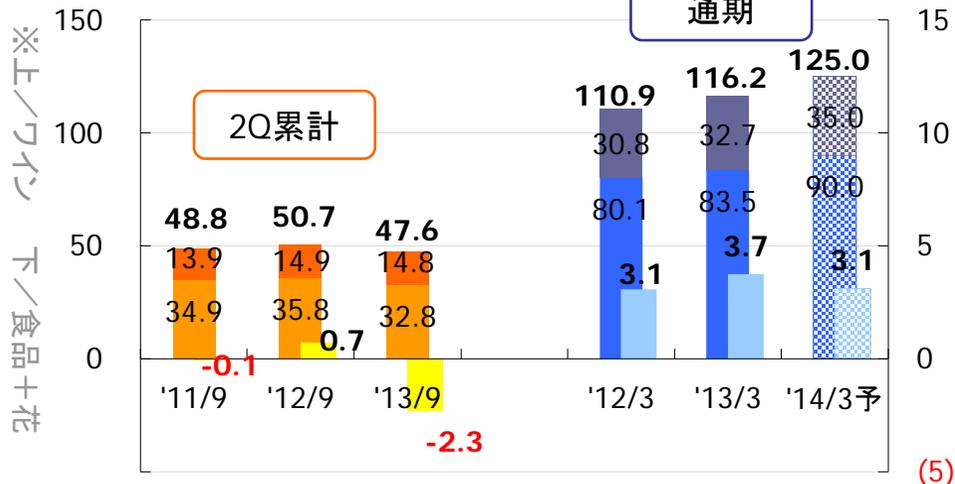
→グルメ事業では、単品販売の強化とワインの販売価格引き上げなどで収益改善を図っていく。

## 2-2. セグメント別概況：専門通販事業

### ▶ グルメ

(■売上高:億円)

(■営業利益:億円)

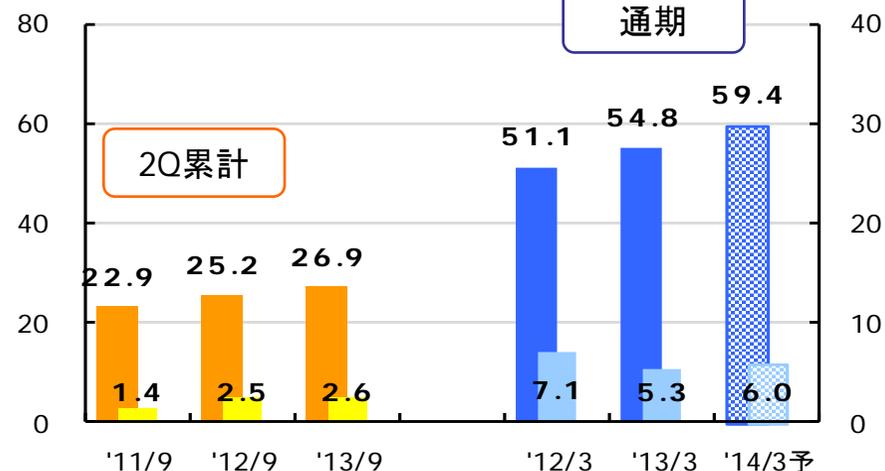


### ▶ オージオ

(■売上高:億円)

(単位:億円) **BELLUNA**

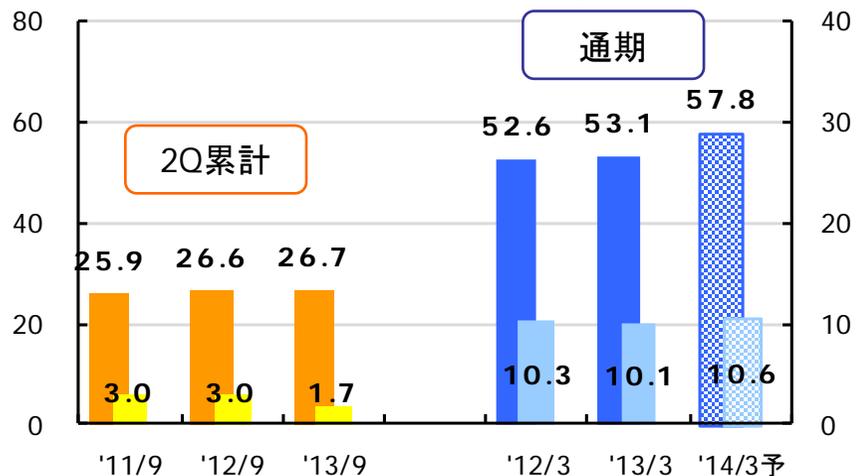
(■営業利益:億円)



### ▶ リフレ

(■売上高:億円)

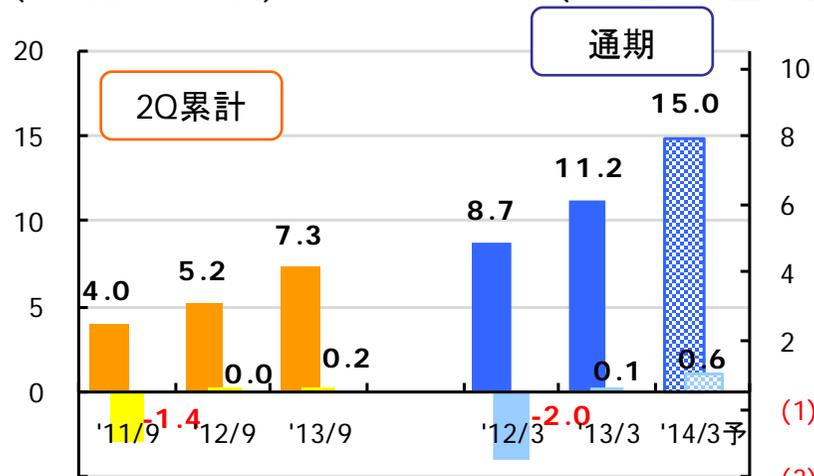
(■営業利益:億円)



### ▶ ナースリー

(■売上高:億円)

(■営業利益:億円)



\*1: 上記売上高・営業利益には広告収入は含まない

<注>このほかに(株)アンファミエの売上3.4億円(1か月分)

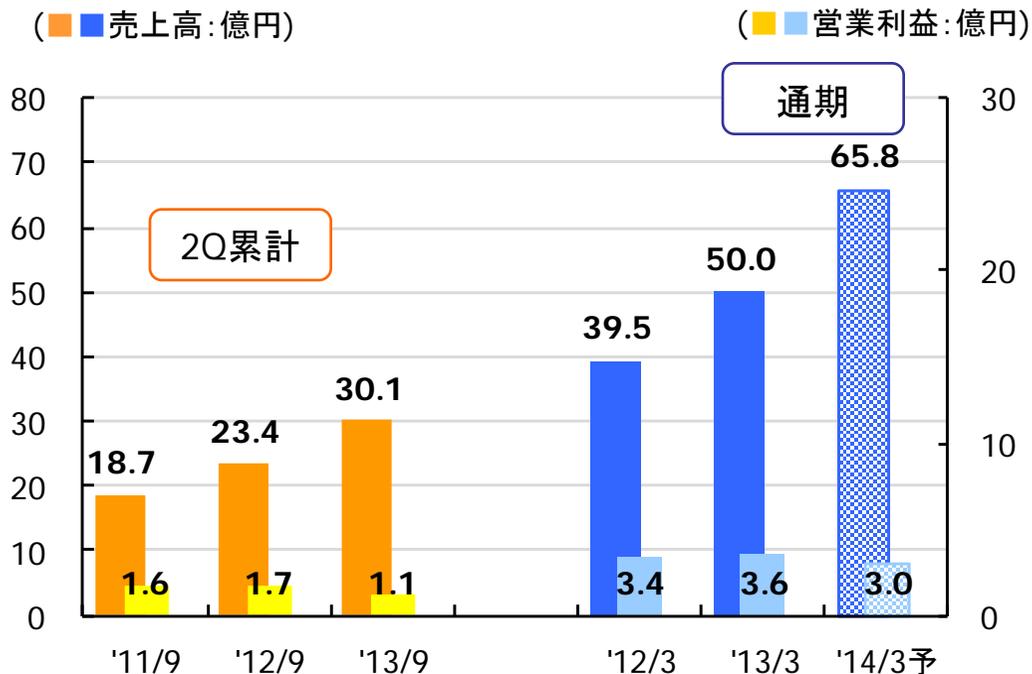
## 2-3. セグメント別概況：店舗販売事業

5.0%

連結売上  
604.3億円  
(14/3期2Q)

BELLUNA

### 【店舗販売事業】実績と総括



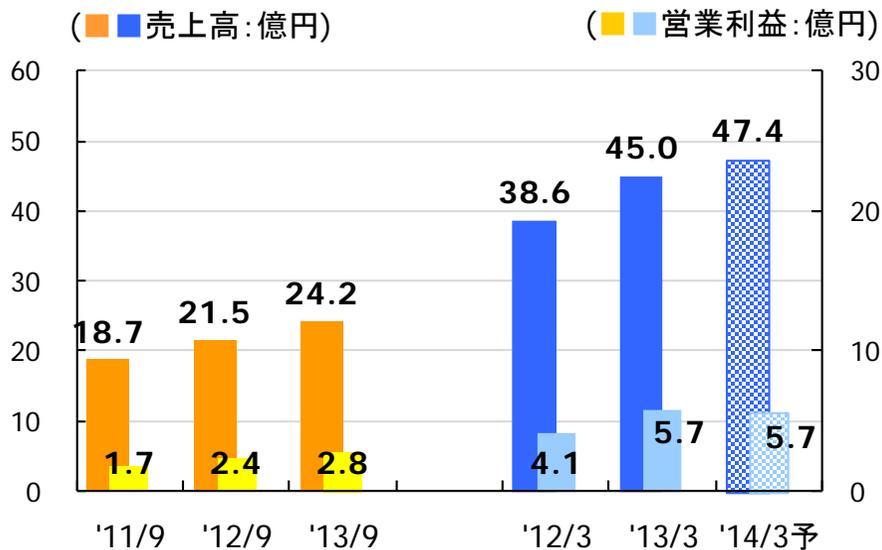
・新規出店の遅れにより、アパレル店舗の売上は予算比未達となるも、和装店舗が順調に売上を伸ばしたことで、店舗販売事業全体としてはほぼ計画通りの着地。

→今後、期末にかけてアパレル店舗の出店ピッチを上げていく。

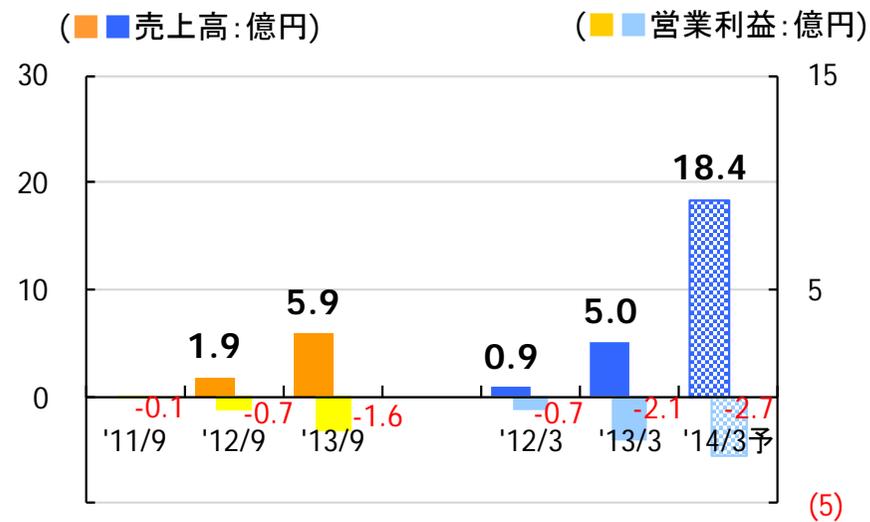
## 2-3. セグメント別概況：店舗販売事業

BELLUNA

### ①和装店舗



### ②アパレル店舗



(5)



[店舗数]

2013/9末時点 47店舗

→2014/3末予定 47~49店舗



[店舗数]

2013/9末時点 13店舗

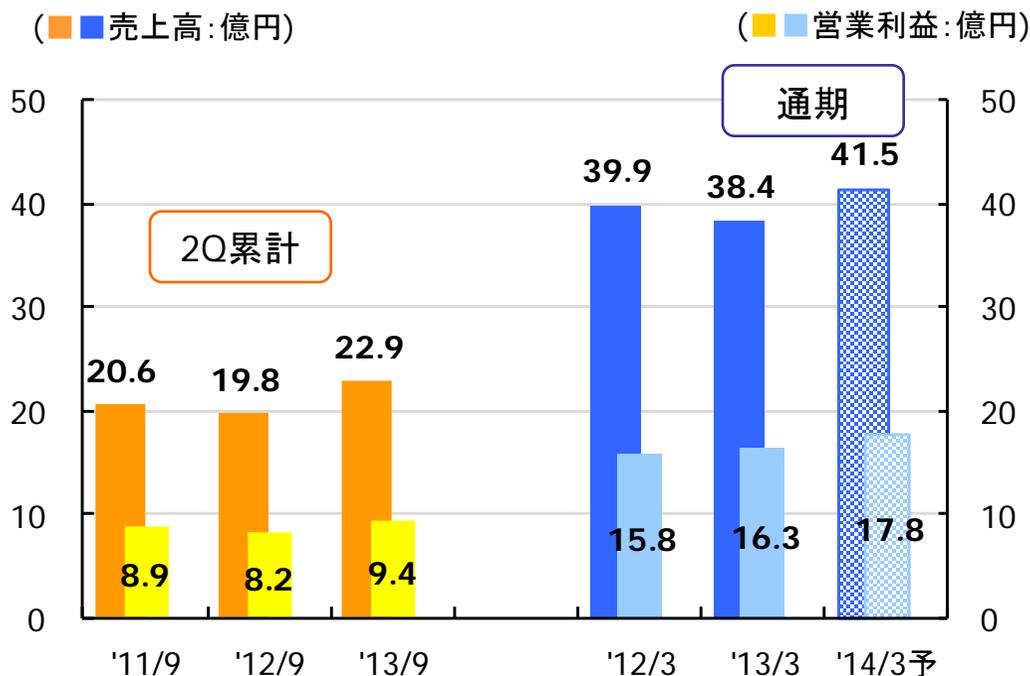
→2014/3末予定 20~24店舗

## 2-4. セグメント別概況：ソリューション事業 3.8%

連結売上  
604.3億円  
(14/3期2Q)

BELLUNA

### 【ソリューション事業】実績と総括

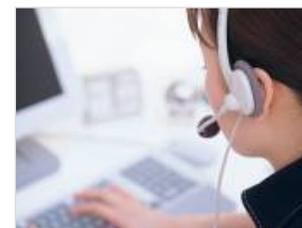


#### 【封入・同送サービス】

自社カタログ封入業務  
商品同梱業務

#### 【通販代行サービス】

コールセンター業務  
商品発送業務  
DM発送業務  
システム管理業務、等



- ・封入・同送サービスと通販代行サービスが共に、2桁を超える伸びを示し、売上高は前年比15.5%増となった。
  - ・また増収に伴い、営業利益も前年比14.0%増を実現。
- 2Qまでの売上高は計画比上振れており、通期でも計画を達成する見込み。

## 2-5. セグメント別概況：ファイナンス事業

2.9%

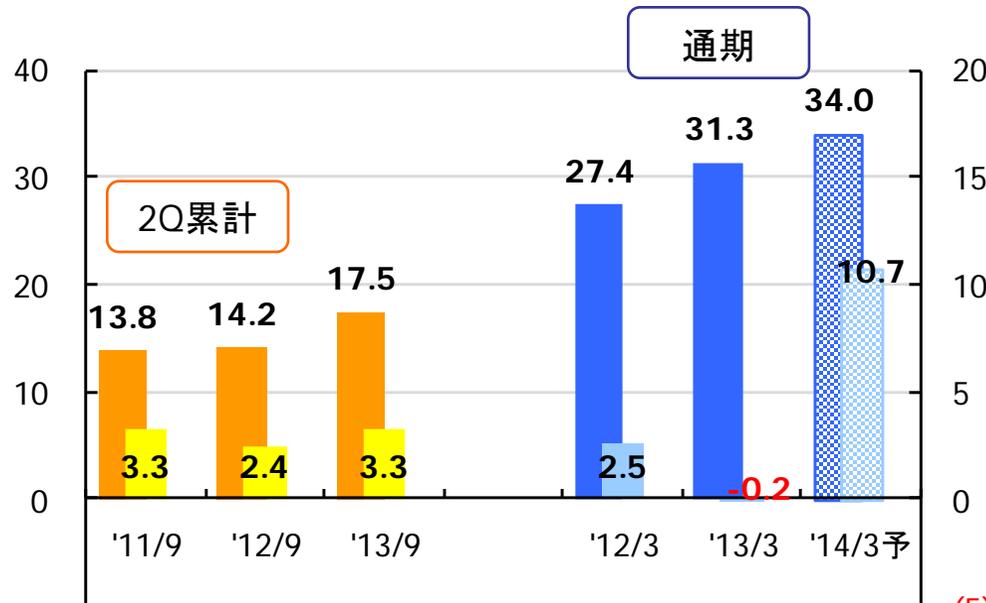
連結売上  
604.3億円  
(14/3期2Q)

BELLUNA

### 【ファイナンス事業】実績と総括

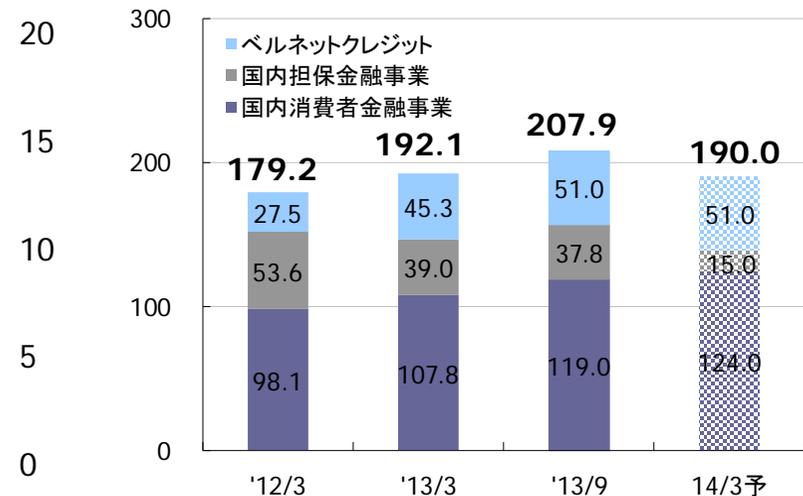
(■売上高:億円)

(■営業利益:億円)



### 《営業貸付金残高の推移》

(単位:億円)



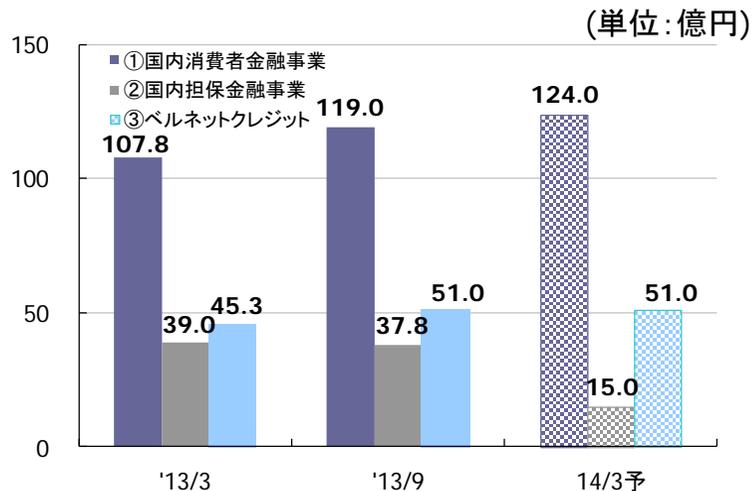
※各事業における「営業貸付金・貸倒率」等の指標の実績推移は、コーポレートデータ(P.13~16)に掲載

(5)

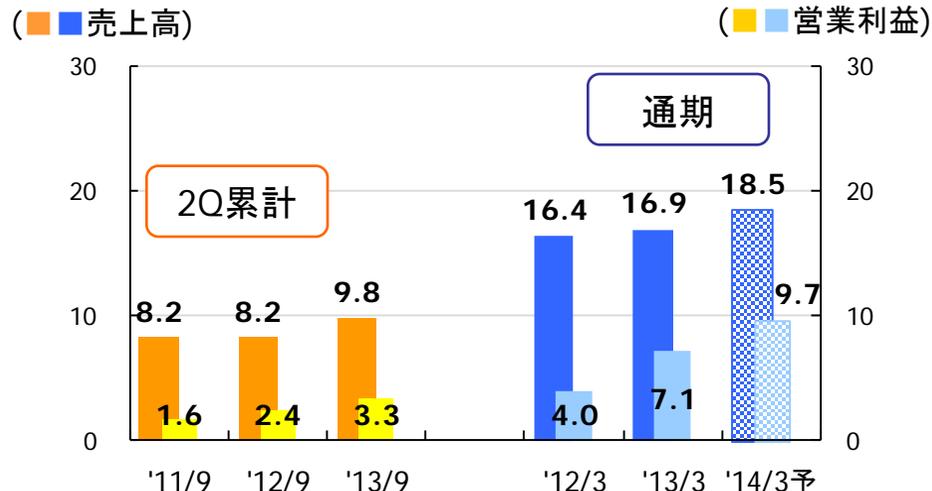
- ・国内の消費者金融事業およびベルネットクレジットで営業貸付金残高を伸ばしたことから、増収となった。
  - ・また、利益面では増益とはなるも、過払返還請求が当初計画ほど減少しなかったため、利息返還損失引当金繰入額が前年比増額となり、計画比では未達となった。
- 過払返還請求件数・金額ともに引き続き減少しているが、減少幅については今後も注視していく。

# 2-5. セグメント別概況：ファイナンス事業

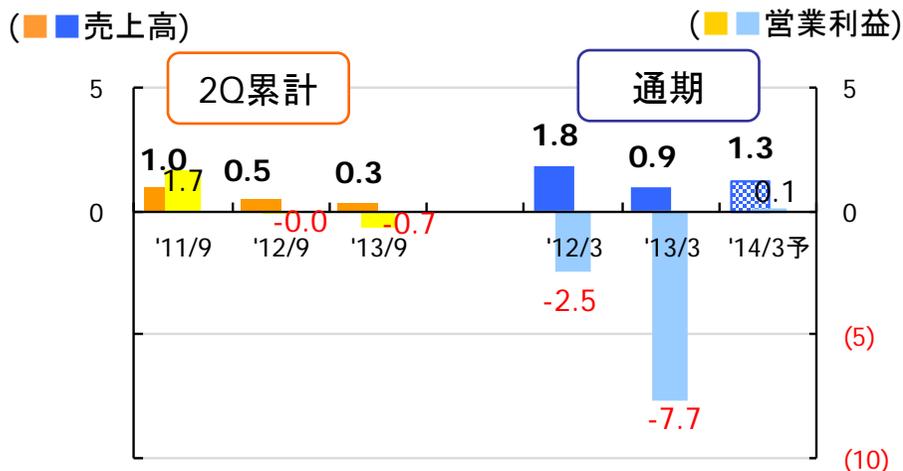
## 各事業別営業貸付金残高の推移



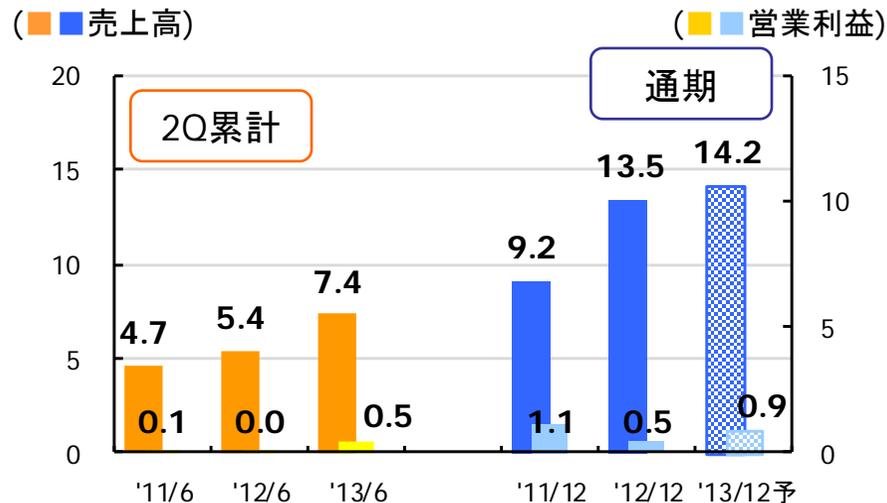
## ①国内消費者金融事業



## ②国内担保金融事業



## ③ベルネット・クレジット



## 2-6. セグメント別概況：プロパティ事業

7.4%

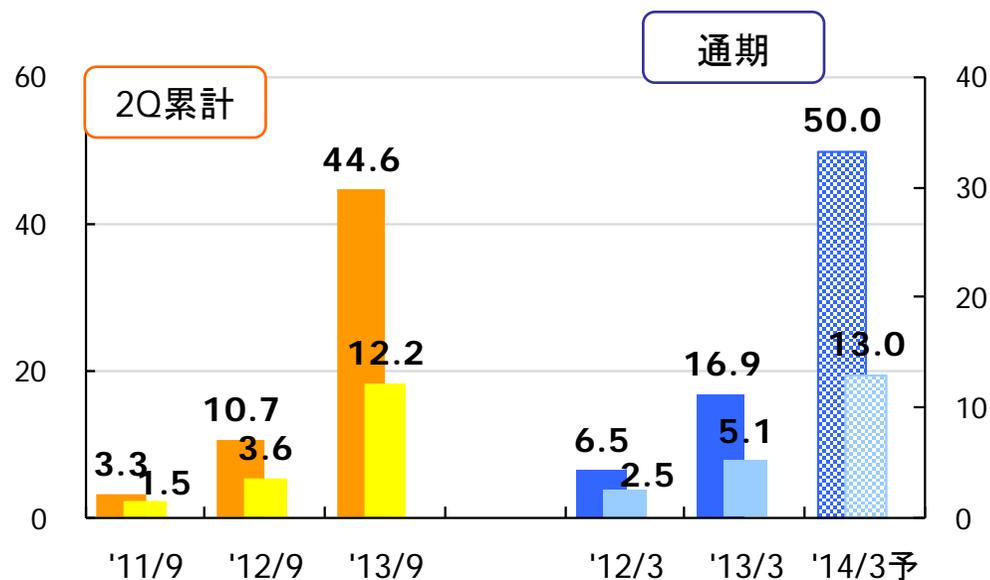
連結売上  
604.3億円  
(14/3期2Q)

BELLUNA

### 【プロパティ事業】実績と総括

(■売上高:億円)

(■営業利益:億円)



- ・販売用不動産4物件を売却し、大幅な増収、増益を実現した。  
～4物件の売却額 39.3億円 営業利益10.6億円
- ・賃貸収入も着実に増えてきており、通期の計画達成は確実。

## 2-7. セグメント別概況：その他の事業

2.3%

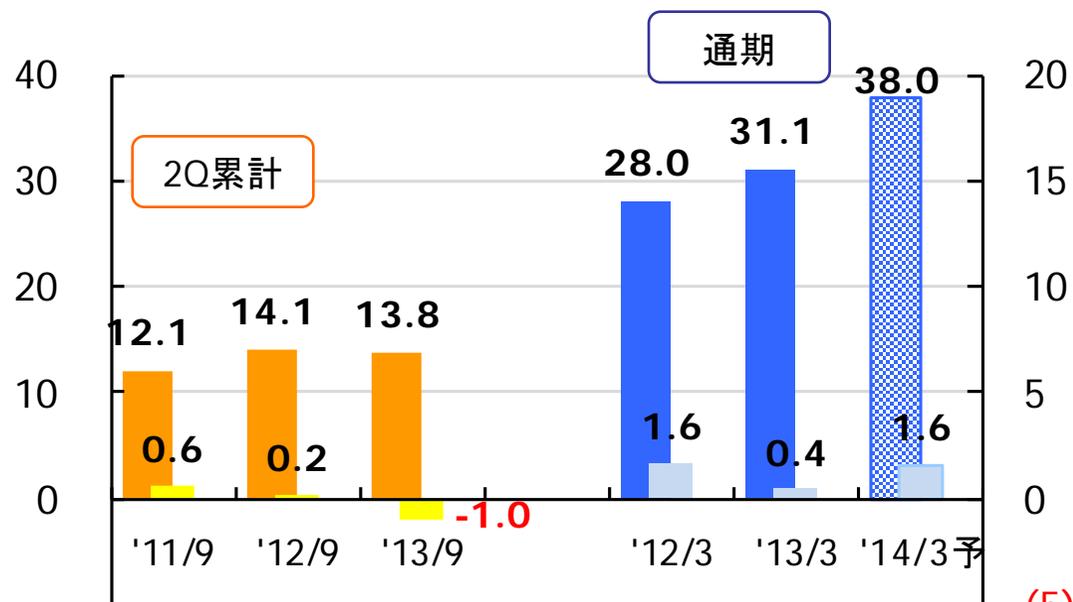
連結売上  
604.3億円  
(14/3期2Q)

BELLUNA

### ▼【その他の事業】 実績と総括

(■売上高:億円)

(■営業利益:億円)



(5)

- ・アパレル卸事業を展開している(株)フレンドリーの売上が減少したこともあって、売上高は前年比2.1%減となる。
  - ・また新規事業の開業費などにより営業利益は減益となった。
- 通期での計画達成は、2Qまでが減収減益であったために、若干厳しい見込み。

# 3. 特集：アンファミエの取得について

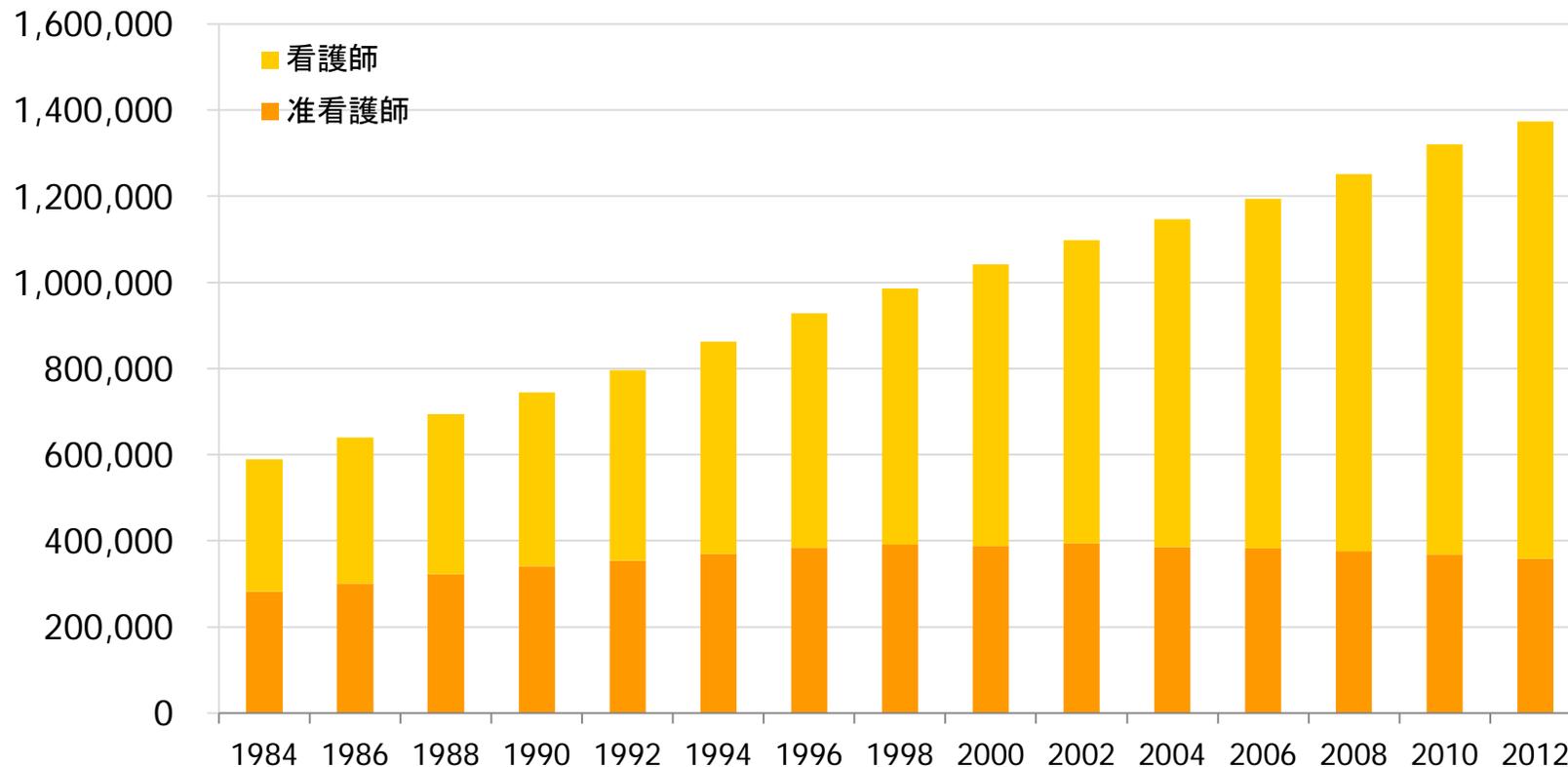
---

BELLUNA

1. 看護師市場の動向
2. 看護師向け通販の市場
3. アンファミエ取得の狙いと業績への影響

# 3-1. 看護師市場の動向

## 看護師・准看護師数の推移



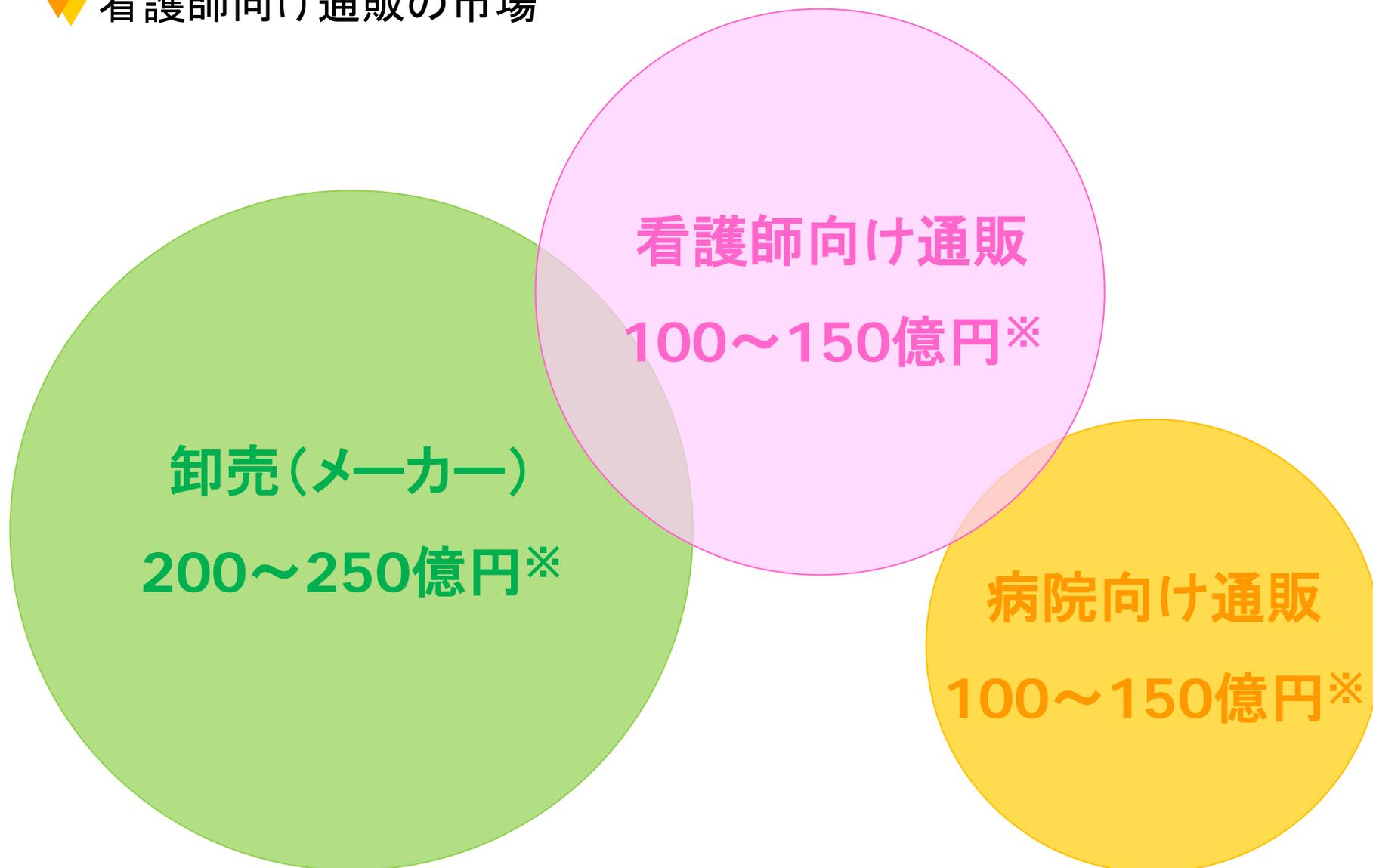
厚労省「衛生行政報告例」より

就業している看護職員は、ここ10年間で見ても2.5%ずつ増加しており、  
今後も高齢化社会を迎えて増加していくと見込まれる。

## 3-2. 看護師向け通販の市場

BELLUNA

### ▼ 看護師向け通販の市場



## 3-3. アンファミエの取得の狙いと業績への影響

### ▼ アンファミエ取得の狙い

1. アンファミエはBtoC看護師通販事業で最大シェアを保有しており、同業のナーズリーも加えて圧倒的シェアを確保できる
2. 取扱いロット拡大による商品調達力の向上および販促コストの抑制
3. ベルーナグループ他事業(ソリューション事業など)への横展開
4. 介護ビジネスへの足掛かり

### ▼ 業績への影響

1. 今期(7か月間)の業績見込み

売上高	34~37億円
のれん償却前営業利益	2.5~3.0億円

2. 「のれん」の償却

取得時ののれん増加額 42.1億円

これを10年間で償却→今期の償却は2.5億円

#### 【ご参考】

13年3月期 アンファミエ事業の業績

売上高	58.1億円
営業利益	5.7億円

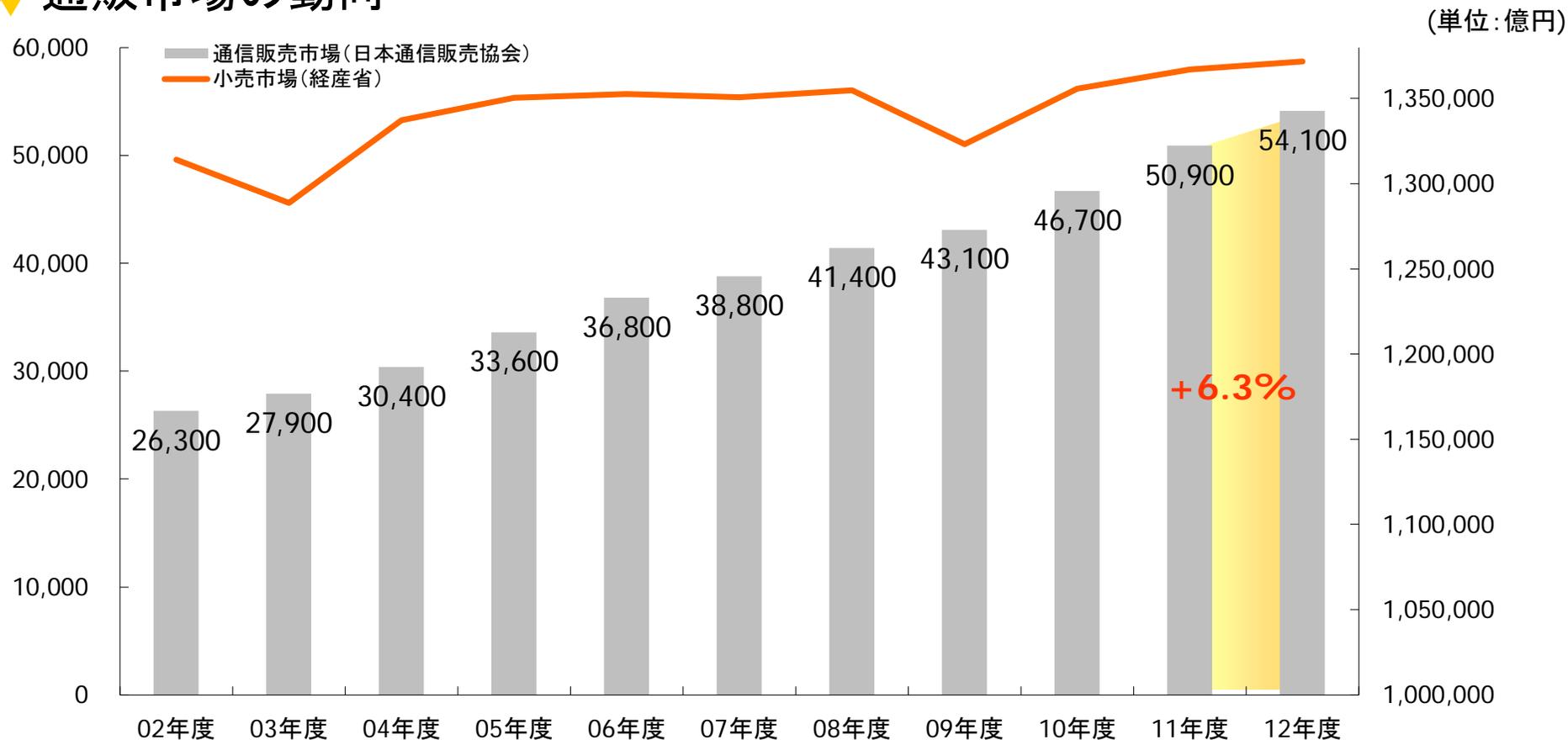
## 4. 第二次短期経営計画

BELLUNA

1. 経営環境の変化と新たな課題
2. 経営基本方針
3. 主要経営指標
4. 経営基本方針に基づく取り組み

# 4-1. 経営環境の変化と新たな課題

## 通販市場の動向

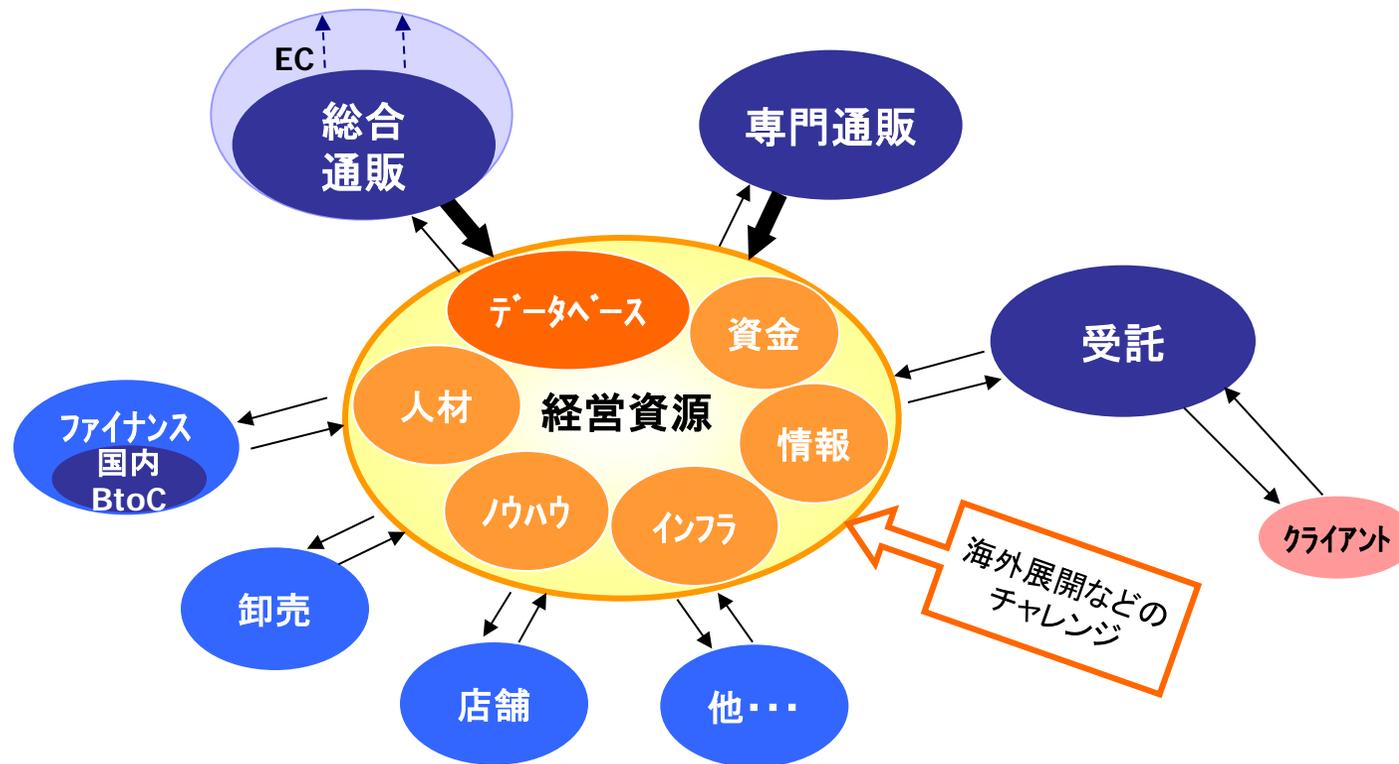


※日本通信販売協会「2012年度通販市場売上高調査」/ 経済産業省「商業販売統計年報」を元に加工

小売市場が一進一退を繰り返している中、通信販売市場は年々拡大傾向を続け、12年度は前年比6.3%増となった。特に、インターネットとモバイル通販の成長が著しい。

## 4-2. 経営基本方針

### データベースを核としたビジネス展開の発展型「通販総合商社」



#### 複数事業のシナジー効果で、高い成長性と収益性の実現を目指すビジネスモデル

- ① 総合通販で培った「顧客データベース」を活用し、  
専門通販・受託などの【データベース関連事業】で安定した収益基盤を作る
- ② 更に、卸売や店舗などの【新たな事業】群でプラスαの収益を生む
- ③ 海外展開などのチャレンジも戦略的に行い、次なる成長の芽を育てる

### “通信販売総合商社”の熟成

1. ポートフォリオ経営の強化
2. 新たな事業の成長促進
3. 通販インフラの整備
4. 株主還元の見直し

## 4-3. 主要経営指標

全体

BELLUNA  
(単位: 億円)

連結	13/3期	14/3期		15/3期		16/3期	
	実績	予算	前年比	予算	前年比	予算	前年比
売上高	1,178.8	1,300.0	+10.3%	1,400.0	+7.7%	1,600.0	+14.3%
営業利益	70.8	95.0	+34.2%	105.0	+10.5%	120.0	+14.3%
(営業利益率)	6.0%	7.3%	+1.3P	7.5%	+0.2P	7.5%	±0.0P
有利子負債	132.4	180.0	+36.0%	150~200	-17~+11%	150~250	±0~25%
純資産	666.1	720.0	+8.1%	770.0	+6.9%	830.0	+7.8%
ROE	9.2%	9.3%	+0.1P	8.5~9.5%(-0.8~+0.2P)			

## 4-4. 経営基本方針に基づく取り組み

### ▼ 基本方針1 ポートフォリオ経営の強化

#### ■ 総合通販事業 ～収益と成長のバランス

- ・収益性の高いミセス層に重点
- ・不採算媒体の縮小

#### ■ 専門通販事業 ～利益を確保しながら成長に重点

- ・看護師向け通販事業・M&Aによる圧倒的なシェア確保
- ・健食・化粧品・利益額を維持しながら、成長性を追求

#### ■ ソリューション事業 ～収益強化と成長の実現

- ・収益性を確保しながら新規顧客を獲得

## 4-4. 経営基本方針に基づく取り組み

BELLUNA

### ▼ 基本方針2 新たな事業の成長促進

#### ① 店舗販売事業の拡大

- ・アパレル・・・今期中に10～14店舗出店予定  
2013/3末 10店舗 → 2014/3末 20～24店舗
- ・和装・・・・・・今期中に2～4店舗出店／3店舗退店予定  
2013/3末 48店舗 → 2014/3末 47～49店舗



BELLUNA 守谷店

#### ② 海外事業展開の促進

- ・中国を中心としたアジアへのワイン卸販売の拡大



上海のワインバー

## 4-4. 経営基本方針に基づく取り組み

BELLUNA

### ▼ 基本方針3 通販インフラの整備

#### 吉見物流センターの新設（投資総額約130億円）

2014年8月から本格稼動 ～ 工事は予定通り進行中



<吉見ロジスティクスセンター 完成予想図>



<吉見ロジスティクスセンター 現在の様子>

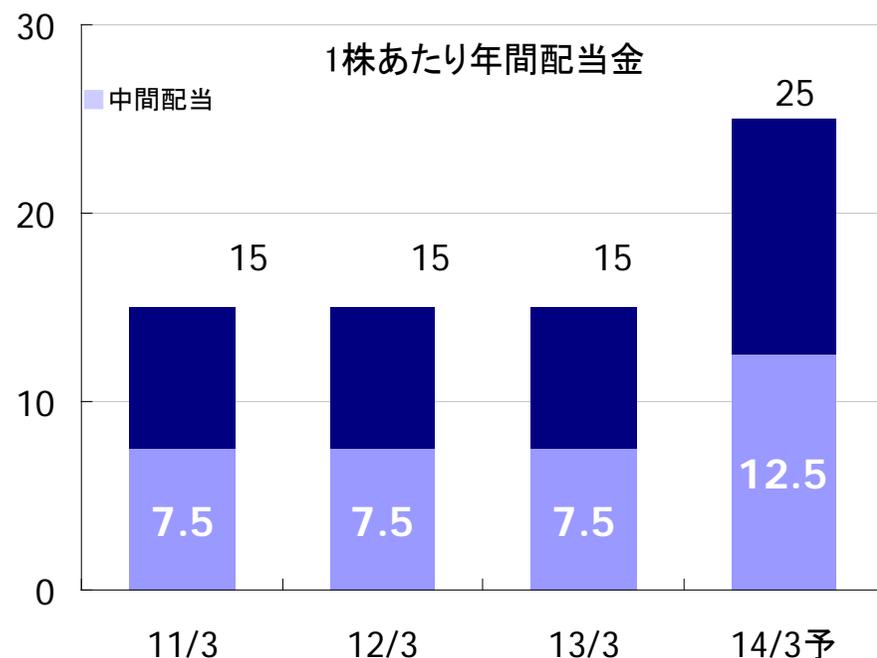
## 4-4. 経営基本方針に基づく取り組み

### 基本方針4 株主還元の見直し

#### 配当の見直し

今期は10円増配

(現行)年間 15円 → (14年3月期) 年間 25円



10月1日付で

当社普通株式1株→2株に分割

単元株式数を50株→100株に変更

→期末配当予想は、

12円50銭→6円25銭となる予定

厳しい状況にありますが、経営資源を最大限に活用して、今期の利益目標である**営業利益95億円、経常利益100億円**を達成していきたい。

## 5. 参考資料

---

*BELLUNA*

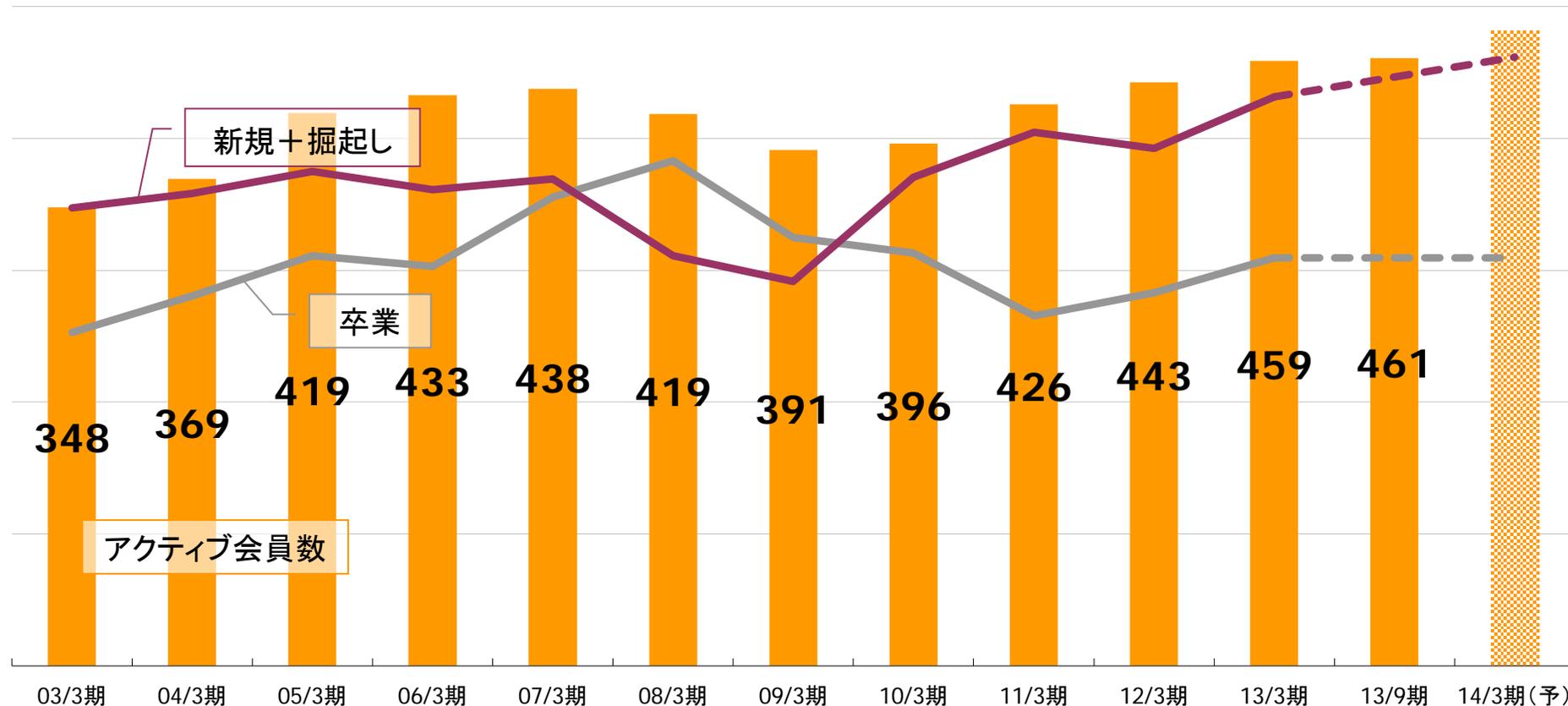
1. 【総合通販事業】アクティブ会員数の推移
2. 【総合通販事業】登録会員の特徴

# 5-1.【総合通販事業】アクティブ会員数の推移

BELLUNA

## ▼ アクティブ会員数の推移

(単位: 万人)



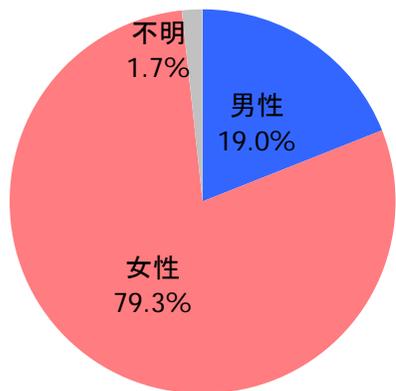
品質・サービス面の強化と、戦略的な商品展開、各種のプロモーション施策により  
アクティブ会員数は依然として順調に伸長している。

# 5-2. 【総合通販事業】登録会員の特徴

## 登録会員の特徴 (2013年9月末時点)

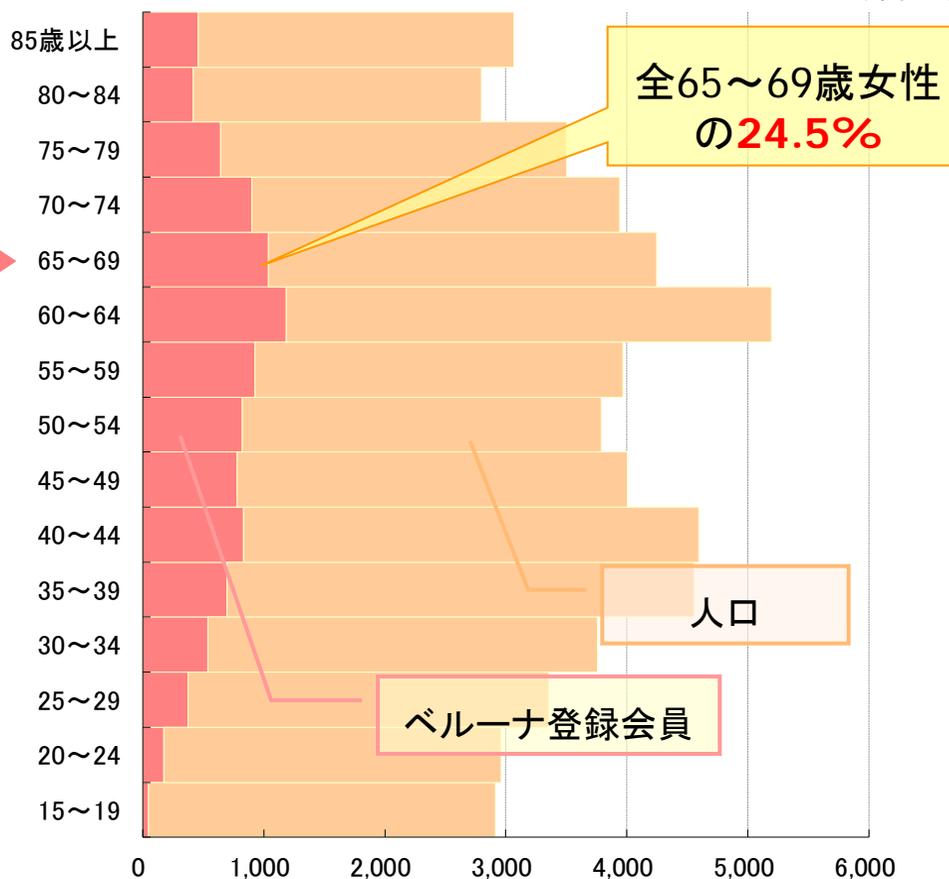
<登録会員数> **1540.7万人** (前年対比+5.8%)

<性別>

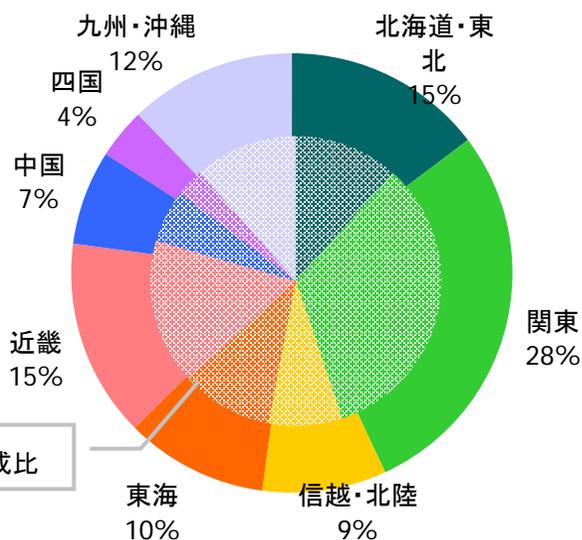


<人口ピラミッドとの比較(女性のみ)>

(単位:千人)



<地域>



地域別の人口構成比

※総務省統計局データを元にベルーナにて作成